

市議会だより

平成29年
第1回定例会
第255号

平成29年(2017年)
4月17日発行

発行／小金井市議会

〒184-8504 小金井市本町六丁目6番3号

編集／広報協議会

TEL (042) 387-9947(直通) FAX (042) 387-1225

小金井市議会ホームページアドレス

http://www.city.koganei.lg.jp/
shisei/gikaijimukyoku/



小金井公園で行われた桜まつり初の夜桜ライトアップ(4月1日)

子育て支援に重点配分 一般会計当初予算可決

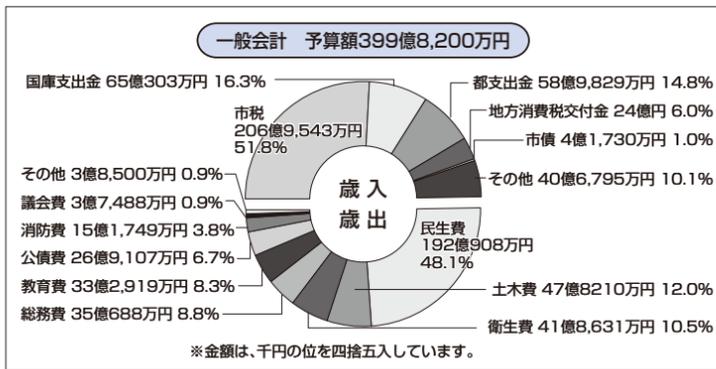
第1回定例会の概要

平成29年第1回定例会(篠原ひろし議長)は、1月26日に開会し、3月9日に閉会しました。

平成29年度 一般会計予算を可決

平成29年度一般会計予算は、総額が前年度比約0.6%の減少となる、歳入歳出それぞれ399億8,200万円を提案されました。審査に当たり、議長を除く全議員で構成する予算特別委員会(小林正樹委員長)に付託し、6日間に及ぶ審査を行いました。

3月2日の委員会では、修正案が提出され、審査を行い、否決した後、原案のとおり可決すべきものと決定しました。3月9日の本会議では、組替え動議と修正案が提出され、いずれも否決した後、起立採決の結果、原案のとおり可決しました。歳出の主な内容は、次のとおりです。



▼新庁舎建設に要する経費(2千95万3千円)

新庁舎建設予定地を最も有効かつ効率的に活用する方策を検討するため、建物の設計や職員の執務環境の調査を委託により行うための経費です。

▼福祉会館に要する経費(1億9千612万7千円)

昨年3月に閉館した福祉会館の解体工事請負費や、建設基本計画策定支援委託料、検討委員会委員謝礼など、市民参加での新福祉会館建設基本計画策定に向けた経費です。

▼保育施策の充実へ向けた経費

認可外保育施設に通う児童の保護者助成金を増額するための経費(6千528万円)、認可保育所1園、認定こども園1園、小規模保育施設1園の新規開設、認可保育所の定員拡充を行うための経費(28億8千662万1千円)などです。

市長から新庁舎及び 新福祉会館の建設に 向けての検討成果及び 今後の取組を報告

2月7日の本会議で、市長からこの間の新庁舎及び新福祉会館の建設に向けた検討の成果及び平成29年度の取組についての報告がありました。この中で、長期的な財政の見直しを示すとともに、新福祉会館建設場所は庁舎建設予定地を最有力候補地とするに加え、平成29年度には建設の整備手法、スケジュールや建設経費等を示すことが表明されました。

本件に関連する案件について、予算特別委員会を中心に各委員会が質疑を行い、その内容を踏まえ、3月7日の本会議において、各会派から意見・要望の発言がありました。

定例会日誌

平成29年第1回

日	内容
9日	厚生文教委員会 議会運営委員会 建設環境委員会 総務企画委員会
13日	厚生文教委員会 議会運営委員会 建設環境委員会 総務企画委員会
15日	建設環境委員会 総務企画委員会
17日	総務企画委員会
20日	予算特別委員会
21日	予算特別委員会
23日	予算特別委員会
28日	予算特別委員会
[3月]	
1日	予算特別委員会
2日	予算特別委員会
3日	行財政改革調査特別委員会
6日	資源循環型社会推進調査特別委員会
7日	本会議(市長報告) 厚生文教委員会 建設環境委員会 総務企画委員会
9日	本会議(委員会付託案件の採決、議案の審議・採決、議員提出議案の審議・採決)
26日	本会議(議案の審議・採決、平成29年度施政方針)
27日	本会議(平成29年度施政方針の質疑)
30日	本会議(平成29年度施政方針の質疑、議案の審議・委員会付託)
31日	本会議(議案の審議・委員会付託)
[2月]	
1日	本会議(一般質問)
3日	本会議(一般質問)
6日	本会議(一般質問)
7日	本会議(一般質問、議案の審議・委員会付託、議員提出議案の審議・委員会付託、市長報告)

市議会の本会議・委員会等の様子を
YouTubeで配信しています。

○YouTube (<https://www.youtube.com/user/koganeishigikai>)

審議した主な議案

平成29年度 一般会計予算

予算の概要は1面に掲載しています。

賛成討論(要旨)

中山克己(自民党小金井)

小金井市薬剤師会が要望してきた在宅使用済注射針の回収事業に対する経費の一部補助、小金井市歯科医師会と連携した成人歯科健診の対象年齢の拡大など高く評価できる事業が盛り込まれており積極的な事業の推進をお願いしたい。平成29年度の安定した行政サービスの提供と市民サービスの向上を第一と考

え、昨年度のように市民生活への重大な影響が出ることなく、また、我が会派や市内の各業界団体が長年求めていた事業など多くあり、本予算に賛成する。

反対討論(要旨)

水上洋志(日本共産党)

反対の理由は次のとおり。①市民生活が大変な中、保育料などの新たな値上げを行う市民生活に冷たい予算であるため。小・中学生医療費の完全無料化、国保税の引下げ、介護保険料の軽減拡充、奨学金制度の拡充など実現を求める。②「市財政が厳しい」と市民に負担を押し付ける一方、再開発事業などには多額の税金を投入する予算であるため。③毎年10億円もの繰越金が生まれる中、市民生活支援が不十分であるため。

賛成討論(要旨)

渡辺ふき子(公明党)

①新福祉会館建設に関する明確な建設計画、スケジュール、

長期財政見通しが示されたこと

②国や都が提案する出産・子育て、空き家対策等の補助金を適切にキャッチし、施策の拡充を図っていること。③認可保育所と認可外保育施設の格差是正が図られたこと。④路面下空洞化調査委託料、私立幼稚園保護者補助金の拡充、飼い主のいない猫対策等、市議会公明党の要望が多数盛り込まれていること。以上のことから、本予算に賛成する。

反対討論(要旨)

渡辺大三(リベラル保守)

市長原案には99%以上は賛成だが、市庁舎と福祉会館建設に関して、スケジュールが非常に遅すぎ、また、コストダウンが不十分である。そういう思いを込めて提出したのが修正案である。稲葉市政は土木費偏重だったが、今回の市長原案は、民生費と教育費に相当手厚い予算措置が行われている。しかし、人件費に関しては、本年度も来年度も正規職員が増えている。類似団体最少の職員でやるとい

賛成討論(要旨)

鈴木成夫(市議会民進党)

本議案は、人への投資が大幅に前進し、保育の量と質の向上のため、児童福祉費が前年度比7億円以上増額され、子育て環境日本一への取組が図られた。また、生活困窮者支援、街路灯LED化など今までにない新たな取組についても高く評価する。市長公約の新庁舎、新福祉会館に関する予算が計上されたこと

も重要で、今後の検討は市民参加を得て、引き続き市民と議会との対話を重視して一刻も早く検討に着手することを要望し、賛成する。

反対討論(要旨)

林 倫子(生活者ネット)

本予算には修正案が必要という立場である。速やかに庁内で庁舎建設の素案をまとめ、基本設計に進むことが重要である。ようやく動き出したが、今以上に遅れてはならないと判断し、本予算に反対する。保育関連経費は一過性のものにならないよう国や都への働きかけを強め、民間委託・移譲は子どもの命に対する責任という観点で質の議論自治体の責任を検討するべきである。武蔵小金井駅南口第2地区再開発事業は周辺への丁寧な対応もなく、執行すべきでない。

賛成討論(要旨)

露口哲治(小金井自民)

第二庁舎の年間賃料の無駄を考へ、新庁舎・福祉会館建設の期間短縮に努めるべきであり、予算に対して以下2点を求め、賛成とする。①新庁舎に係る執務環境調査や建設計画調査の事業について、進捗の度合いを見える化するべきである。②受託者との協議状況、土壌の安全性や新福祉会館建設基本計画の策定状況などでスケジュールの前提を強く意識し、予算年度の途中でも、判断が可能となった時点で設計業務についての補正予算を措置するべきである。

反対討論(要旨)

片山 薫(緑・市民自治)

これまで提案してきた、認可保育所と認可外保育施設との保育料の格差是正、フードドライブ、空き家活用の調査、女性相談の回数の増加などが入っ

ることは評価する。しかし、新庁舎と新福祉会館の基本設計費が含まれていないこと、公民館本館に関する経費が含まれていないこと、武蔵小金井駅南口第2地区の再開発補助金が含まれていないこと、就学援助の認定倍率の引下げ、教育費の保護者負担の調査がなされていないことから、本予算に反対する。

奨学資金支給条例の一部を改正する条例(議員提案)

2月7日の本会議において厚生文教委員会(渡辺ふき子委員長)に付託し、2月9日の委員会で審査を行いました。本条例は、厳しい経済情勢を踏まえ、小金井市の奨学金の支給額を増額することを目的として、議員から提案しました。内容は、大学生等は月額2万円で定数10人、高校生等は月額1万2千円で定数50人と、月額と支給人数を定めるものです。3月9日の本会議では、起立採決の結果、起立少数により、否決しました。

賛成討論(要旨)

板倉真也(日本共産党)

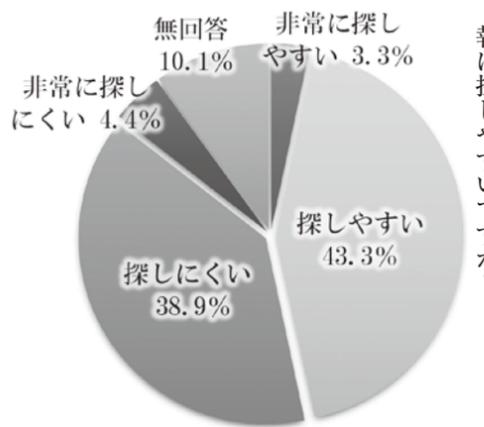
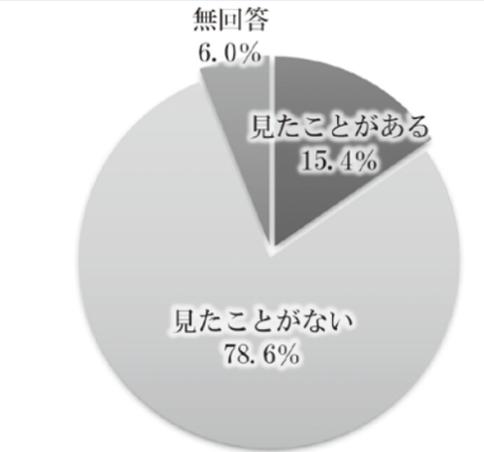
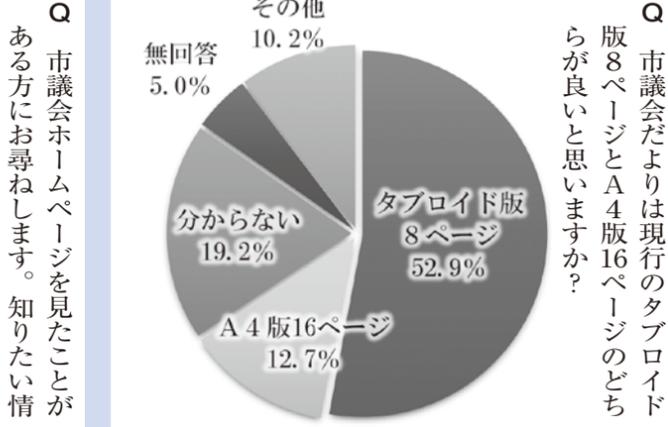
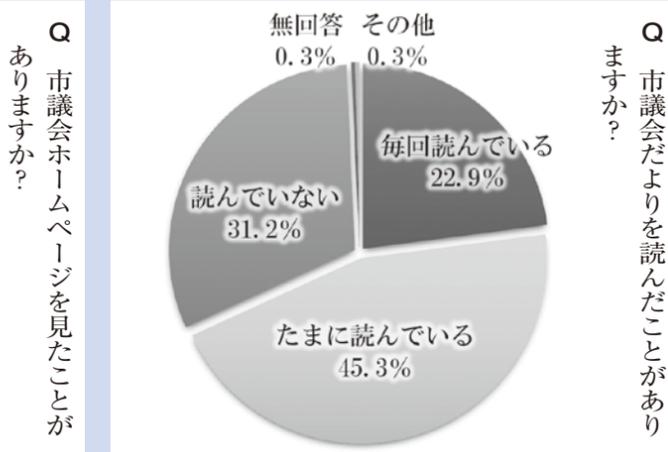
いまや、家庭の経済状況によって学ぶ機会を奪われる事態をなくそうという取組は、社会全体の大きな流れになっている。条例案を実現するためには700万円の財源があれば可能。小金井市はこの間、10億円前後の赤字決算が続いており、0・7%を充てれば実現できる。西岡市長は選挙公約で「子育て環境日本一」を掲げて当選しており、経済的理由で進学を断念、あるいは中途退学せざるを得ない若者をつくらぬいまち・小金井にするために賛成する。

議会広報に関する意識調査(アンケート)を実施しました

広報協議会では、市議会だよりの体裁の改善や内容の充実、市議会ホームページの利便性の向上等、様々な事項について検討を進めています。本調査は、このような検討の中で、市民の皆様の声を反映することを目的に実施したものです。調査結果のうち、主な項目は左図のとおりです。なお、調査報告書は、市議会ホームページで公開しているほか、議会図書室(市役所本庁舎4階)、情報公開コーナー(市役所第二庁舎6階)で閲覧できます。頂戴した貴重なご意見は、今後、より

調査方法及び回収結果

【調査期間】平成28年12月2日～12月28日
【調査方法】郵送配布・郵送回収
【調査対象】無作為に抽出された18歳以上の市民2千人
【回収結果】584人(回収率29・2%)



各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。

一般質問

(4面~7面)

2月1日、3日、6日、7日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

会派の略称

(自民党小金井)	自由民主党小金井市議団
(日本共産党)	日本共産党小金井市議団
(公明党)	小金井市議会公明党
(市議会民進党)	小金井市議会民進党
(リベラル保守)	リベラル保守の会
(生活者ネット)	生活者ネットワーク
(緑・市民自治)	緑・市民自治こがねい
(改革連合)	改革連合
(市民会議)	こがねい市民会議
(小金井自民)	小金井自由民主

平成28年度施政方針の検証と評価について

中山克己(自民党小金井)

(ア)平成28年度の施政方針に対する実績について、自身の評価は。(イ)不十分な点は。(ウ)オール小金井の対話が重要と述べているが、対話を重ねてきたか。6施設複合化は1年で4度の方針転換。その間、我々や市民と対話した実績は、ほとんど確認されていない。自身の後援会組織だけでの議論が市民対話というなら、市民はそう思っていない。

市長 (ア)各事業進捗に濃淡はあるが全体として着実に動いている。新可燃ごみ処理施設の設計・建設、20年間の運営を一括して行う事業者が決定し契約が完了。本庁舎の竣工時期は平成33年度を目指すことを報告できた。(イ)不十分な点は、年度が終了していないので具体的に言えないが最後まで努力する。いくつかの施策について、諸事情で予定どおりに進んでいないものもある。(ウ)市民との対話は進め

てきたつもり。もちろん十分ではないが、全力を尽くしてきた。

■その他、消防団出初式の屋外暖房の実施検討、市の個人情報保護と情報管理体制、市内の防犯カメラ設置、都市計画道路3・4・8号線整備事業、撤去自転車等の撤去料の見直しといった各政策と課題について、質問と提案をしました。



利用者目線の芝生管理 駅前ロータリー対策

小林正樹(公明党)

①学校の芝生について。養生期間を短くし、伸び伸びと利用できる運営・維持の水準などを定めたガイドラインを教育委員会で作成し、市で統一化しないか。

学校教育部長 学校の状況を確認して、一定の基準が設けられるか考えたい。

②一時保育について。緊急な理由での予約が取りにくい状況があるが、改善できないか。

子ども家庭部長 市民からそのような声が寄せられており、課題と認識している。公立保育園の一時保育の拡大についても引き続き職員団体と協議を進めていく。

③駅前ロータリーについて。一般車両や介護・障がい者に関する車両が安心して停車できる場所の確保はできないか。

都市整備部長 目立たない色のカラー舗装と、案内表示サイ



自助と近助は 地域をつなぐキーワード

鈴木成夫(市議会民進党)

①隣近所の助け合いと「自助」の理念の周知についての市の見解は。

総務部長 避難所運営協議会設置によりどのような支援が可能かについて勉強したい。また、自助と共助の理念に立つ市民と市が連携を図り相互に協力し、市民の生命や財産の安全の確保に努めるような防災意識を浸透させていきたい。

②待機児童解消策と個別対応が必要な児童受入れの課題は。

子ども家庭部長 4月に向け、約240人定員を拡充したが、応募状況に鑑みると待機児童解消はかなり難しい。公立・民間園含め、加配している児童数は25人、気になる児童として配慮している児童は22人。保育課としては現在の巡回相談の状況を精査し、より支援につながる仕組みにする必要があると考えている。

③市が共生のまちづくり条例



地元から事業推進が強く求められている都市計画道路3・4・8号線



芝生の上で元気に運動をする児童



隣近所の助け合い、支え合いの取組である「近助」の実現にはこうした防災訓練が欠かせません。

ココバスの更なる充実と 坂下住民の悲願

露口哲治(小金井自民)

坂上地域と坂下地域間の交通サービスの充実として、ココバスの増便やルート変更などの要望は多いが、財政的観点から難しいと言われてきた。坂を克服するため、デマンドタクシー、エレベーター、エスカレーター設置の研究を要望するが、他市の例や市の見解では、それぞれ



の費用は、5〜6千万円、2億6千万円、1億5千万円と財政負担は大きく、実現するには様々な課題もあることが分かった。

これに対して、平成29年度予算でココバス5ルート運行費補助金は、約3千400万円と安価である。更にココバスに予算を割くべきである。(ア)野川・七軒家循環は、20分間隔運行を積極的に

障がいのある子どもと 家族の支援の充実を

渡辺ふき子(公明党)

①障がいのある子どもは増えている。児童発達支援センター寄りへの期待は増し、家族に寄り添う施策の充実が求められる。(ア)放課後等デイサービスや移動支援の課題は把握しているか。(イ)事業者の減少に対応を。(ウ)きらりでの保護者に対する相談支援や、両親学級等の実



施により、施設サービスにつな

がっていない家庭への支援を。**福祉保健部長** (ア)きらりの放課後デイサービスでは10人の待機者があり、民間の事業所にも待機者がある。(イ)移動支援の事業者は12か所あり、他市を合わせると24か所ある。開設のお話を頂いた際は適切に対応したい。(ウ)試行的にペアレントトレーニングを行っている。

②東大通りの交通安全対策を。北大通りまでの拡幅事業が長期化しており、早期に抜本的な安全対策が必要である。(ア)東小金井駅西側高架下への信号機を設置を求める。(イ)緑町二丁目見橋バス停前に、横断歩道の設置を求める。(ウ)三小前交差点付近の児童通学路への安全対策を。**都市整備部長** (ア)信号機は今年度内に設置予定。(イ)現時点では難しい。(ウ)用地買収を早期に進めるよう都に伝える。

保育所待機児童解消策と委託・民営化を問う



板倉真也(日本共産党)

①(ア)待機児童ゼロを、いつの時点で達成させる考えなのか。(イ)就学前まで保育する認可保育園を中心に、新設・増設を行うべきではないか。

②(ア)公立保育園の委託化・民営化で、公立保育園と同規模の保育士体制、保育の質をどのように担保するか。(イ)保育士を確保するために委託料を大幅に引き上げる考えを持っているか。

③(ア)現在、公立保育園では国の認可基準を上回る職員配置をしており、民間保育園でも同様の配置が行われている。これは、市内保育園の職員配置に関して、国基準を上回る職員配置を行った場合の補助金を交付することにより、保育士体制及び保育の質の維持・向上を図っていることによるもの。(イ)委託料の試算はしていないが、現在、民間保育園に対応しているものを、公立保育園を委託化したからといって適用しないとする理由はないことから、委託料設定の考え方として、当該要素も考慮する必要がある。



民営化が計画される公立保育園

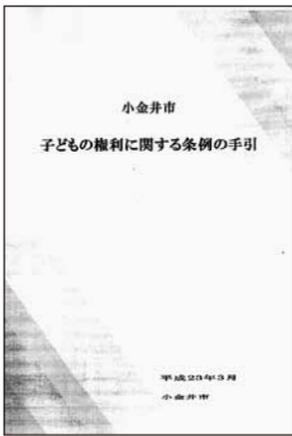
子どもの権利条例を市民参加で広めよう



片山 薫(緑・市民自治)

①(ア)市民提案で作られたのびのびがねいっ子には、当初子どもの権利条約が掲載されていたが、改訂の中で削除された。市の子ども権利条例を掲載しないか。(イ)公民館の子どもの人権講座の開催時や国連子どもの権利の日に、図書館でコーナーの設置を。(ウ)逐条解説のある条例の手引を市ホームページに掲載しないか。(エ)市長の考えは。子ども家庭部長 (ア)今回の改訂版には掲載しない。生涯学習部長 (イ)テーマ展示は多岐にわたるため検討したい。児童青少年担当部長 (ウ)今後、考えていきたい。市長 (エ)条例の推進は大切な視点だと考えている。

②(ア)ふれあいギャラリーとふれあいセンターの代替場所を。(イ)福祉会館や公民館を利用して市民の状況を各公民館の利用者懇談会などで把握しないか。福祉保健部長 (ア)ふれあいセンターのボランティアの状況は確認した。今後、サロンなどを開くか検討している。生涯学習部長 (イ)今後、利用者懇談会を実施する予定である。その他、生活保護への活用しつつ普段の生活の中で話し合うことが準備になる。



差別偏見をなくすために、ケータイ・スワーカーの体制、専門性、研修について確認しました。

大火の糸魚川を見て／オリパラと小金井



吹春やすたか(自民党小金井)

①糸魚川市での大火を教訓に。(ア)防災行政無線が聞こえない地域の解消と、広く災害情報を伝えるため、個別防災情報受信機の普及を検討しないか。(イ)MC A無線機を使い慣れるために個別の指導をしないか。(ウ)ディスプレイをポンプ車に装着しないか。(エ)大震災に対応するために震度別対応基準の設定を望む声もあるが、市の見解は。総務部長 (ア)JCOMの専用端末で防災行政無線を聞けるが、位置付けとして自助と考える。(イ)MC A無線機の個別指導は随時、要望に応えたい。(ウ)ディスプレイについては協議・検討したい。(エ)災害に対する心構えと思う。防災マップ等

②東京オリンピック・パラリンピックに向けて、市としてはどのように取り組んでいくのか。生涯学習部長 2020年の大会が近づくにつれ、取組を深めていく。近隣他市、東京都と国の動向等も注視していく。また、スポーツ推進計画を発行し、平成32年度までの施策を計画的に進めていく。教育委員会のみならず、全庁挙げて取り組んでいく体制について、関係課と今後調整し実行していく。



大火の糸魚川(視察時、本人撮影)

市民協働の今と未来は



田頭祐子(生活者ネット)

昨年からの、市民協働提案事業と市民協働推進委員会がスタートした。(ア)推進委員会の設置目的、目標、役割、開催状況は。(イ)事業の概要は。プレゼンテーションは公開なのか。(ウ)提案制度やプレゼンテーションについてツイッターなどでお知らせしないか。(エ)市と委託契約を結んでいるNPOなどへ、事業の問題点を聞き取っているか。(オ)契約の在り方の問題点は。(カ)市と事業者の調整役には、市民協働推進準備室を強化すべき。市民部長 (ア)市民協働のあり方等検討委員会の答申にある、第三者委員会に相当するものを目指した。協働施策の推進と、協働事業提案制度の2本が柱である。提案事業の審査も行う。(イ)市民と行政が協働で実施する事業を、市民活動団体が提案するもの。平成28年度分については、9団体が応募し、3団体が2次審査の公開プレゼンテーションに進んだ。(ウ)何とかやっていきたい。(エ)今の状況は把握していない。各事業の在り方よりも、新たな仕組みづくりを優先した。(オ)現在の法体系では難しい。(カ)準備室は個別の契約案件に立ち入るのは難しい。今後は行政提案型事業につなげたい。

より実効性のある政策で共生社会の実現を



坂井えつ子(緑・市民自治)

(ア)女性委員がゼロの審議会は。(イ)(仮称)第5次男女共同参画行動計画で、性別だけではなく、性自認や性的指向による差別禁止の明文化を。(ウ)LGBT理解のための研修を。(エ)性的少数者への政策について市長の見解は。(オ)障害者が共に生活する社会をつくる小金井市条例(案)の名前は、いわゆる「健常者」視点に立っていないか。考え方を問う。(カ)改めて「りんくうの店」の早期再開を。(キ)3月の市議選に向け取り組みとしていた、音声版の選挙公報の進捗は。企画財政部長 (ア)3つの附属機関で女性が0人。(イ)男女平等推進審議会に伝える。(ウ)研究する。

称は、いわゆる「健常者」視点に立っていないか。考え方を問う。(カ)改めて「りんくうの店」の早期再開を。(キ)3月の市議選に向け取り組みとしていた、音声版の選挙公報の進捗は。

企画財政部長 (ア)3つの附属機関で女性が0人。(イ)男女平等推進審議会に伝える。(ウ)研究する。

税金を払わない巨大企業と課税最低限



関根優司(日本共産党)

16年間の市政を振り返り、市長の見解を伺う。歳入では、税金を払わない巨大企業と生活保護以下の課税最低限が最大の問題である。歳出では、大型開発に偏重している点。次に、費用対効果、受益者負担の発想である大久保元市長も「企業会計の費用対効果」という考えは公会計に合わない部分がある。福祉などが「そうだ」と答弁しているが、この発想では福祉などは削るという結論にしかならない。市民の福祉や暮らしに優先してお金を使い、公共事業も福祉施設等生活密着型にし、お金を地域で循環させて暮らしを応援し、地域経済も活性化するようにすべき。国政では4野党と市民が協働しているが、市政でもそれぞれの政党会派が自ら信ずるところを主張し、市民に訴えると同時に、一致点では協力して市民のために働くべき。小金井市議会にはそういう良い伝統がある。市長 武蔵小金井駅南口再開発は未来への投資である。学童保育所や自校方式の学校給食など良い点も見えてほしい。行財政改革は避けて通れなかった。市をどういうまちにするか、この1点で議会の方々と共有できる思いがあれば、市の未来を拓く努力を共にしていきたい。

教育環境の充実に向けて



百瀬和浩(リベラル保守)

① 学校の児童・生徒数の偏りにより、弊害が生じていると認識しているか。また、その改善策を持っているのか。

学校教育部長 認識しているが、学級数の偏りには双方にメリット、デメリットがあると考えている。現在、課題を把握し、どのような改善策が考えられるか、また見直しにはどのようなスケジュールが望ましいのか検討している。

② 老朽化した学校施設の長寿化は難しいと考える。将来予測を踏まえて、他の公共施設との複合化など新しい学校モデルを作るべきと考えるがいかがか。

学校教育部長 学校施設の整備計画は、老朽化対策にとどま

財政健全化と新庁舎建設は最優先の課題



齋藤康夫(市民会議)

① どんなに素晴らしい政策や計画も、財政の裏付けがなければ執行できない。財政健全化は市の最優先課題である。

ステップ1として、現状を把握し、市民と情報共有する。ステップ2として、問題点を抽出する。ステップ3として、問題点の解決を図る。ステップ4として、解決策を実行し、財政健全化を完成させる。その解決策は、都市計画を見直すことにより、増税せずに固定資産税を増収することである。見解を求める。

企画財政部長 行政経営のマネジメントサイクルについては同じ考え方を持っている。多くの方々と課題の共有化を図り、

改革のサイクルを確立していきたい。

② 第二庁舎の賃貸料は無駄遣いである。新庁舎は単独建設により早期建設すべきである。見解を求める。

企画財政部長 建設コストや効果、市民サービス向上の視点、最適配置を考える必要がある。現時点ではお答えできない。

■その他、第二庁舎の再契約に臨む心構えについて、新庁舎建設について、市長のリーダーシップを発揮すべきではないかと質問しました。

保健センター！ 予防接種について



湯沢綾子(自民党小金井)

本市の保健センターは市域の端にあり、妊婦や乳幼児連れの保護者は行くだけで大きな負担になる。また、集団健診等の待ち時間が長いことも問題である。保健センターの立地の検討とともに、人員体制の拡充、健診等の実施方法の工夫を要望する。

(ア) 予防接種の中でBCGだけが

集団で行われているが、BCGは多摩26市でも半数の自治体で個別接種となっている。保健センターへのアクセスが悪い本市こそ個別接種化をすべきではないか。予防接種はその子を良く知るかかりつけ医に行ってもらい、安心であり、他の接種との関係でも個別化への要望はかなりある。(イ) 任

意接種に助成を行わないか。東京23区ではおたふくかぜの予防接種に助成している区が多数ある。また、ロタウイルスの予防接種は高額で、子どもに受けさせたくても受けさせられない保護者がいる。

福祉保健部長 (ア) かかりつけ医の重要性は認識している。医師会の先生方と調整し、BCGの個別化について研究していきたい。(イ) 市では定期予防接種のみを進めたいと考えており、任意接種に対して助成する考えは持っていない。

ココバスの運営と歯科健診充実について問う



岸田正義(市議会民進党)

① ココバスの運営について。(ア) 提案した車内広告の実施時期は。(イ) 総合的見直しの予定は。(ウ) 民間バス事業者との役割分担が必要であり、新庁舎建設に当たってもまずは民間バス事業者へルート変更をお願いすべき。

都市整備部長 (ア) 4月から広告募集を開始する。(イ) 平成34年3月の新庁舎竣工に見合った形で考えている。(ウ) 担当も同じと考えて、ルート変更も視野に入れている。

② 歯科健診の充実について。お口の健康は体の健康であり、医師の入口が歯科である。歯科健診の充実が総合的な医療費の削減につながる結果が科学的に証明されている。(ア) 保健センターでの妊婦歯科健診は不便である。他市同様、個別受診を実施すべき。(イ) 成人歯科健診は5年に1度だが、毎年実施しないか。(ウ) 対象を他市同様、18歳まで引き下げ、予防医療に努めていくべき。

福祉保健部長 (ア) 専門職が妊婦と顔を合わせて話せる貴重な機会であり、今後の研究課題。(イ) 財源の確保が非常に難しい。(ウ) 他市との差は認識している。将来の医療も考慮し、成人歯科健診の充実にも努めたい。

■その他、放課後子ども教室について質問しました。

自転車駐車場の廃止に伴う対応について



森戸洋子(日本共産党)

① 東町三丁目の自転車駐車場が廃止になり、市民は困っている。早急に対応しないか。

都市整備部長 東小金井駅東側高架下の公租公課分を整備するが、具体的なスケジュールはお示しできない。

② 都の公園審議会で、武蔵野公園を整備するための議論がされている。地元住民に知らせないで進めることは問題である。市議会に報告し、市民へ説明するように求めないか。

環境部長 これから都民へのパブリックコメントなどを実施し、市に対しても意見照会を行うということであり、市も意見を提出していく。都は地元への説明会を実施する予定はない。

③ 都は、3・4・11号線の整備の影響で野球場が使用できなくなるため、整備計画では野球場の位置を南西に移動する予定なのか。

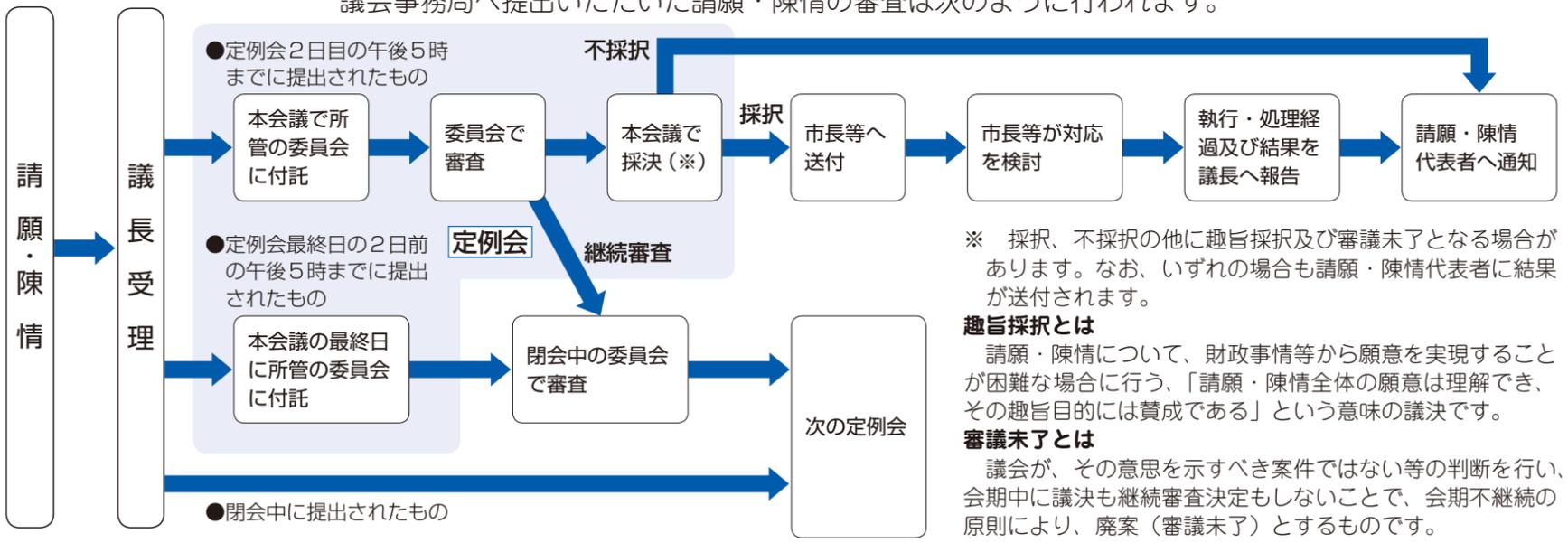
都市整備部長 3・4・11号線の整備の時期や構造の検討を踏まえ、今後調整を行っていくと都は答えている。

④ 市は毎年10億円から15億円の赤字であり、市民の暮らしを最優先にした税金の使い方をすべきである。

企画財政部長 市民ニーズに基づき適正に配分している。

請願・陳情の審査の流れ

議会事務局へ提出いただいた請願・陳情の審査は次のように行われます。



※ 採択、不採択の他に趣旨採択及び審議未了となる場合があります。なお、いずれの場合も請願・陳情代表者に結果が送付されます。

趣旨採択とは

請願・陳情について、財政事情等から願意を実現することが困難な場合に行う、「請願・陳情全体の願意は理解でき、その趣旨目的には賛成である」という意味の議決です。

審議未了とは

議会が、その意思を示すべき案件ではない等の判断を行い、会期中に議決も継続審査決定もしないことで、会期不継続の原則により、廃案(審議未了)とするものです。



小金井市はGPN会員として印刷のグリーン購入に取り組んでいます

この議会報は再生紙を使用しています。*ごみ減量と資源の再利用にご協力ください。この印刷物は、植物性インキ(石油系剤を利用するかわりに植物油を溶剤としたインキ)を使用しています。

